

笑顔大好き!

子ども人権啓発委員会だより

第2号
平成27年2月発行
枚方市PTA協議会
子ども人権啓発委員会

こんにちは。子ども人権啓発委員会です。

3学期もあとわずかとなりました。

暦の上では春ですが、まだ冷え込みの厳しい日もありますね。

手洗い・うがい、十分な栄養と休息に気を配って、一年の締めくくりのこの大切な時期に、風邪などに負けないよう過ごしたいですね。



★ 平成26年度 子ども人権啓発委員会 活動報告 ★

平成26年

6月21日 第一回全体会 輝きプラザきららにて

講演『子どもにやさしい社会を!ともに』

講師 山下裕子さん 子ども情報研究センター事務局長

9~10月 分散会 9月30日 枚方市民会館

10月15日 枚方市民会館

24日 輝きプラザきらら

27日 輝きプラザきらら

(10月6日は、台風のため中止)

アドバイザー 辻 恵子さん

山田 智子さん

高木 美弦さん

近藤 善枝さん

12月15日 研修会 輝きプラザきららにて

講演『学生時代を振り返って』

講師 渡邊 源喜さん

平成27年

2月13日 第二回全体会 輝きプラザきららにて

グループトーク『みんなで話そう あんなこと・こんなこと』



ひとりでかかえこまないで
だれかに話してみましょう

枚方市の児童・生徒に関する総合電話窓口
『子どもの笑顔守るコール』

いじめ専用ホットライン 072-809-7867 (なやむな)

教育安心ホットライン 072-809-2975

相談時間はいずれも平日（月～金）9時～17時

講師・アドバイザーのことばから

～今年度の講演や分散会のアドバイスの中から、一部ご紹介します～

「一人ひとりがうからおもしろい。なのに、人とちがうと生きにくい。子どもに余裕があるときは、子どもは自分とちがうものに出会ったら新鮮を感じ、好奇心や興味を持つもの。ちがうものをいじめるのは、子どもの問題ではなくて社会の問題。」

「こうしたい、あなりたいという夢や希望は、その先に誰かのために力になりたいという気持ちがあるのが普通。子どもの人権を守る社会は、すべての人を大切にする社会。」

「同年代と同じプロセスを経験することは重要。障害があるから親や先生が助ければよい、というものではない。本人が「あ、自分はできないんだ」と気づけるサポートも必要。障害は本人が引き受けないといけないもの。社会の中でやっていくために、自分の障害について相手に伝わる言葉で説明し自己開示することをずっと心がけてきた。」

「『甘え』という言葉は、問題を個人のものにしてしまう。『配慮』は、特別な状況を解消するためのもので、障害の有無にかかわらず一緒に学ぶための手段。」



「思春期の子どもたちは、「うるさい」「言われたらやる気なくなるわ」などきつい言葉を言うが、そうやって親という壁に石を投げるのが子どもの仕事。きついことは文字通り受けとめなくていい。この時期はいつか過ぎるもの。ただし、子どもが聞いていないようでも、親として言っておかないといけないことは、独り言をつぶやくようにしてでも、言っておく。」

★★★ 一年を振り返って ★★★

6月の全体会から始まった今年度の活動も、先日の第2回全体会で今年度のおもな活動を終えることができました。「誰からも評価されずに自分を出せる場所が大人にも子どもにも必要。PTAはそのような第3の存在になる。」と6月の全体会の講師山下裕子氏からエールをいただき、その言葉を念頭に置いて活動してきました。

これまでさまざまな形でご協力いただいた皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。活動へのご参加・ご協力ありがとうございました。

枚方市PTA協議会 子ども人権啓発委員会

委員長 土井圭子(第一中)

副委員長 阪本京子(桜丘北小) 森山孝一(第三中) 菊谷久志(中宮北小) 堀内恵里(招堤北中)

★「枚方市PTA協議会」のHPでは、各部会・委員会の活動をご紹介しています。“子ども人権のページ”ものぞいてみて下さい。<http://www.epta.net/>